

第1回

徳島小松島港津田地区活性化計画推進委員会

徳島県 運輸政策課

平成30年8月31日

議題1 徳島小松島港津田地区の現状について

- 徳島小松島港津田地区の現状 1
- 活性化計画の概要 17
- 津田地区活性化整備事業の概要 20

議題2 検討課題及び今後の進め方について

- 検討課題 23
- 今後の進め方(案) 28

議題1

徳島小松島港津田地区の現状について

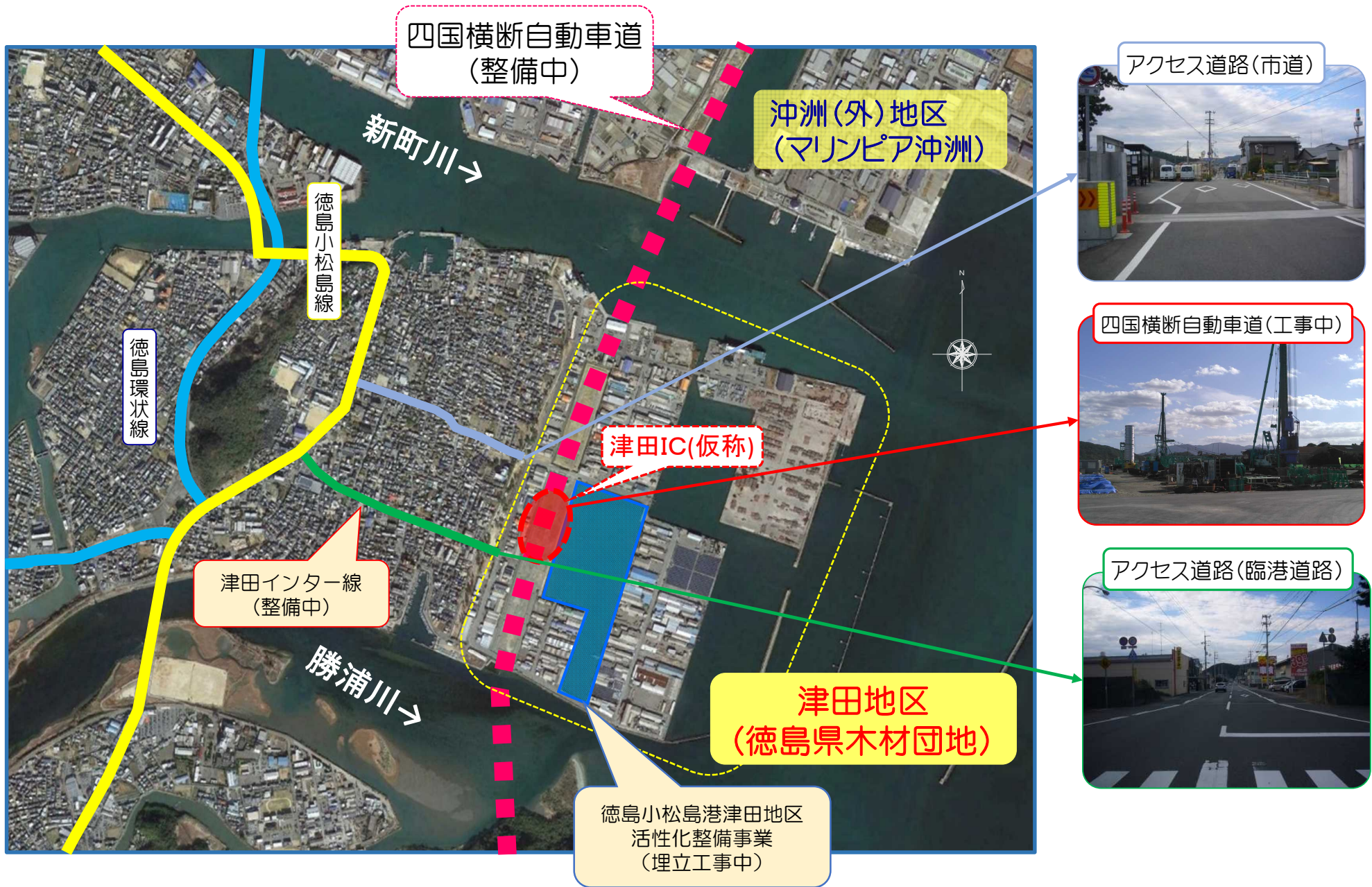
1.地理的狀況

徳島県



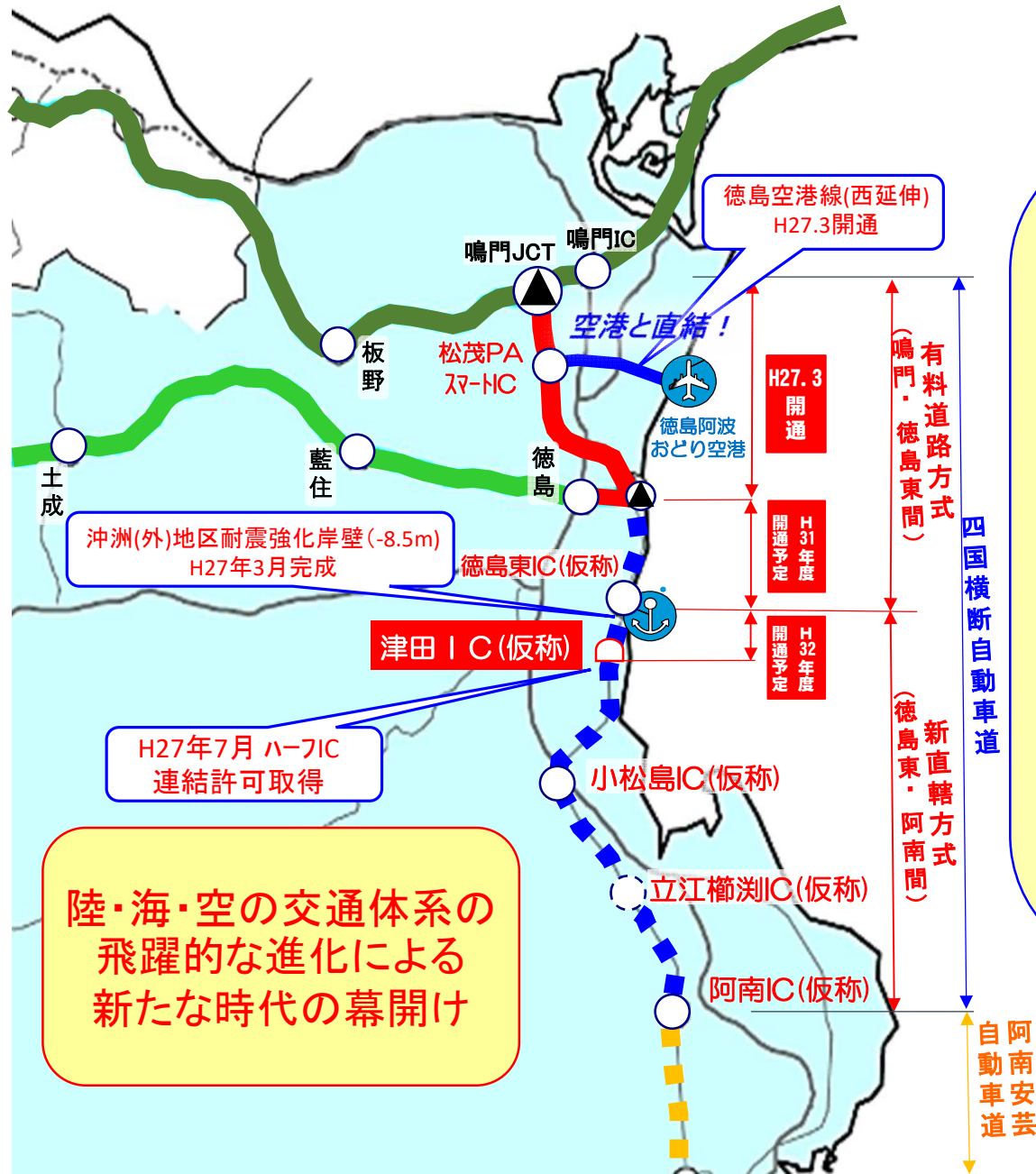
2. 津田地区周辺の状況

徳島県



3.四国横断自動車道等

徳島県

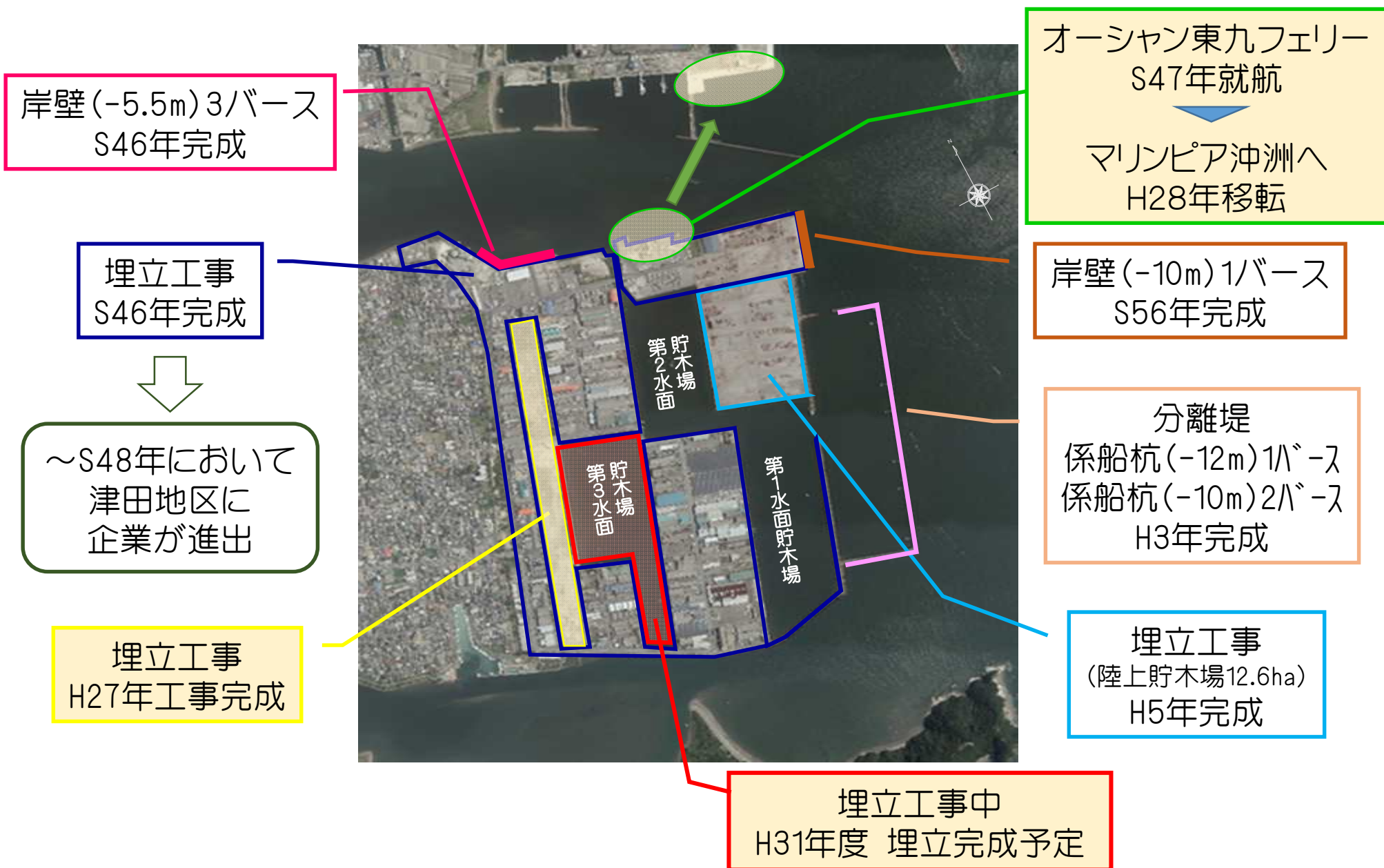


- 平成27年7月 津田ハーフICの連結許可取得
- 将来の高速道路南伸に向けたフルIC化を視野に
- 県の整備による「地域活性化IC」
- 新たな「陸海空の結節点」の誕生
- 徳島県が飛躍的な発展を遂げるための地方創生の起爆剤

陸・海・空の交通体系の
飛躍的な進化による
新たな時代の幕開け

4.埋立・施設整備等

徳島県

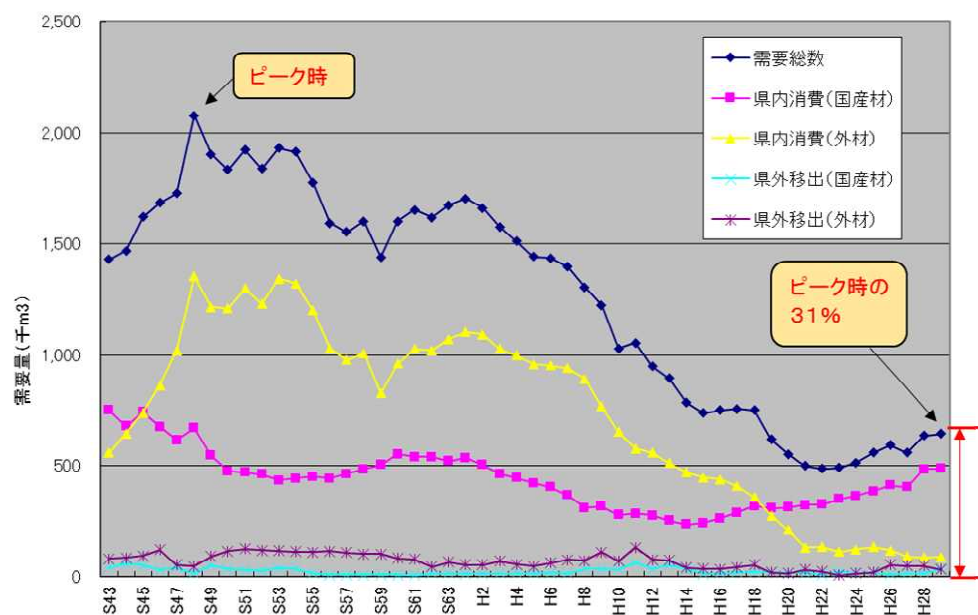


5.徳島県木材産業の状況

徳島県

■徳島県の木材需要量

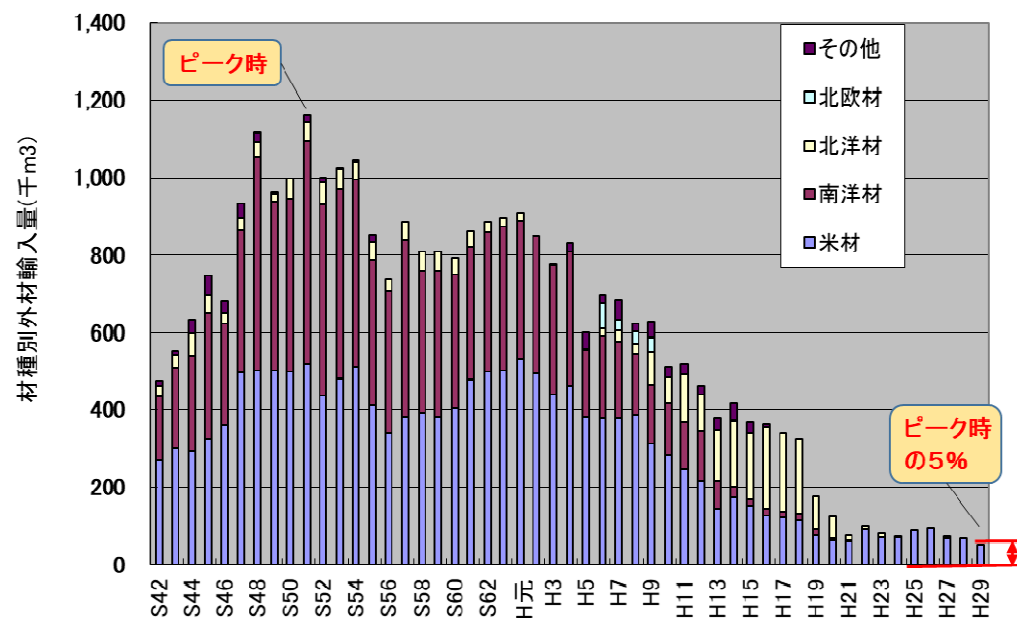
徳島県の木材需要量は
ピーク時の31%



徳島県木材需要量の推移

■徳島県の木材輸入量

徳島県の木材(原木)輸入量は
ピーク時の5%



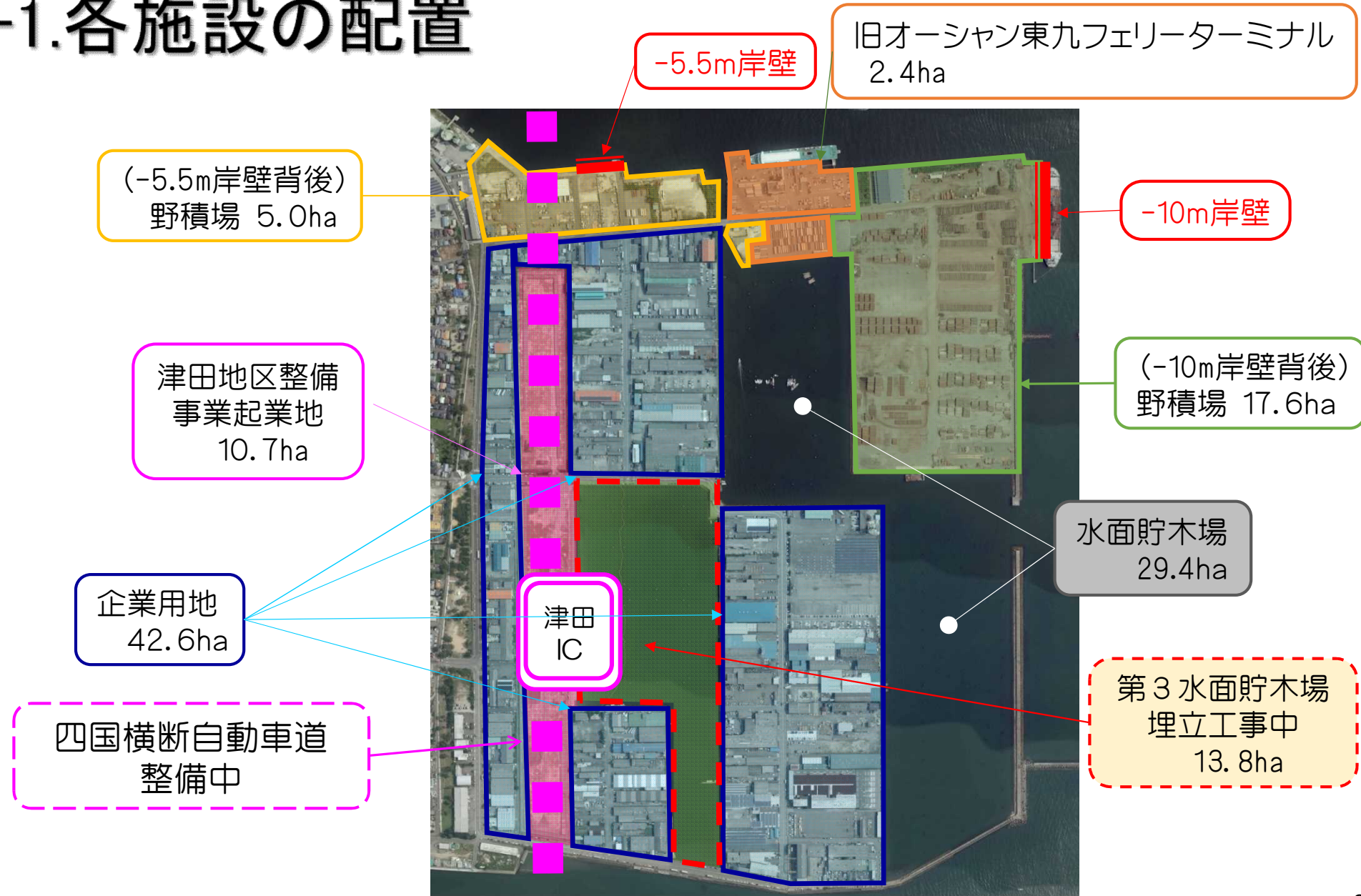
徳島県木材輸入量の推移

データ出典: 木材需給実績報告書(徳島県林業戦略課)

6.既存施設等の状況

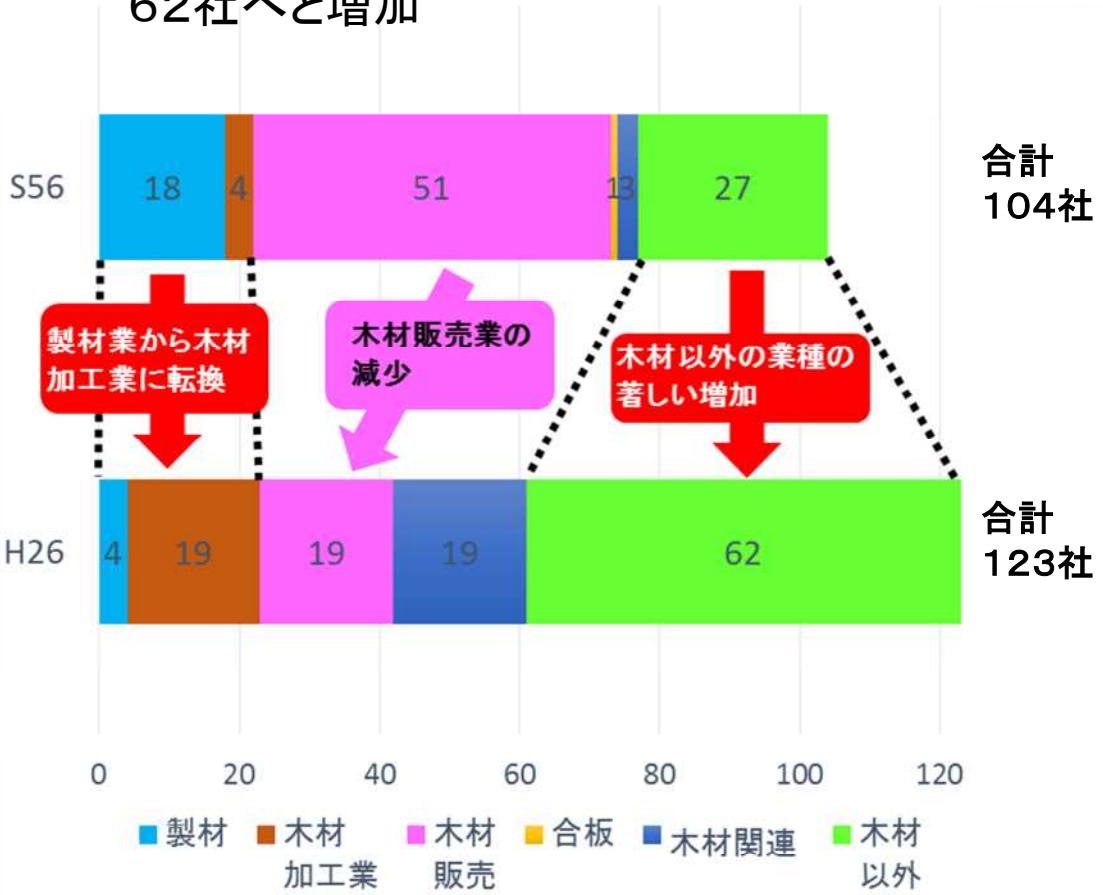
徳島県

6-1.各施設の配置



■業種別企業数

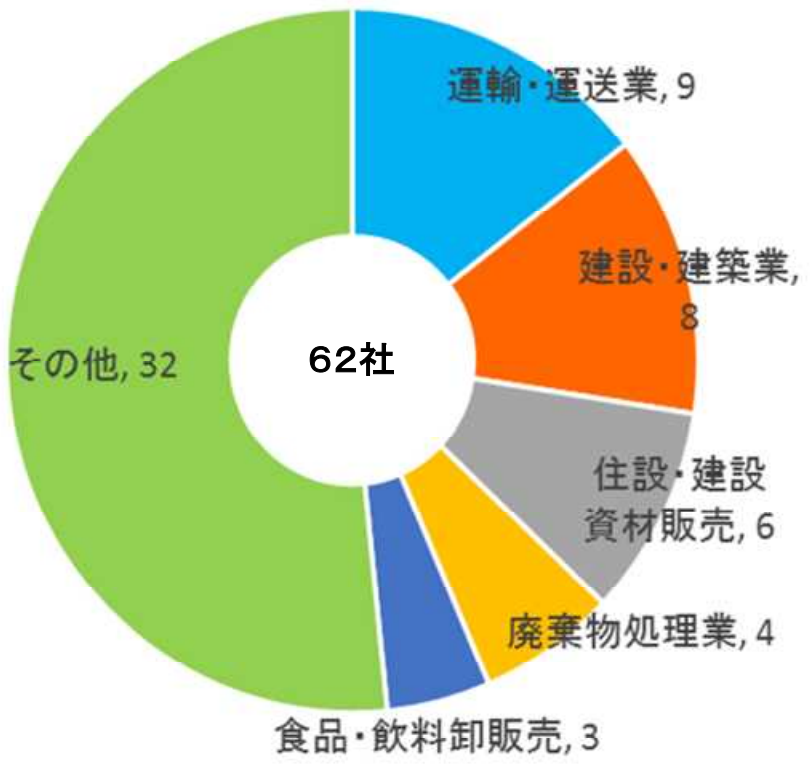
木材以外の業種が27社から
62社へと増加



業種別企業数の推移

■木材以外の業種

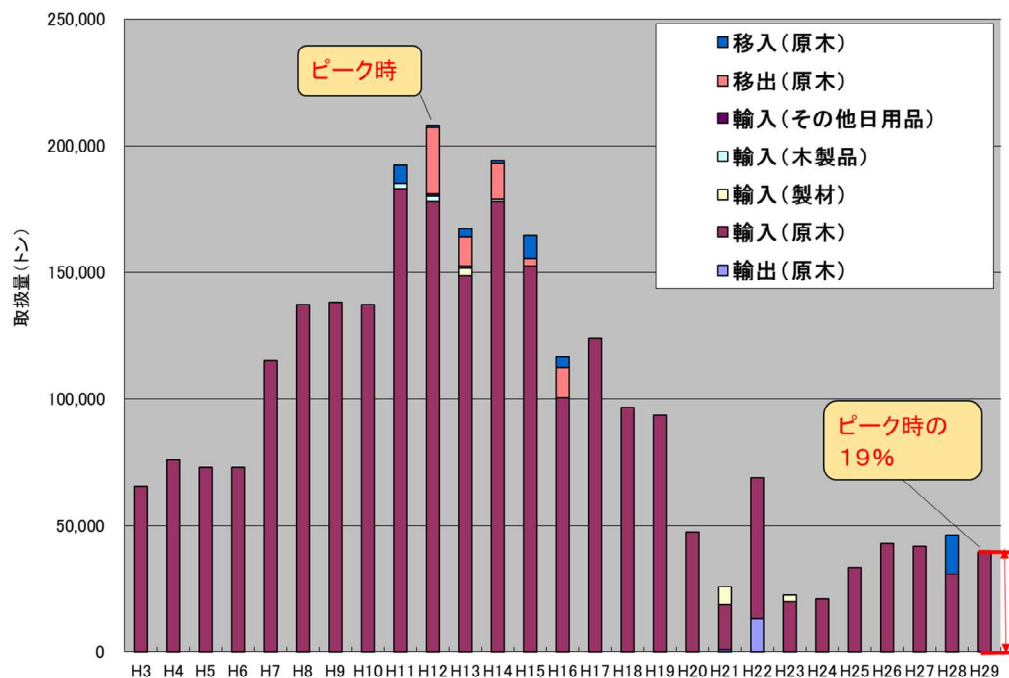
木材以外では、運送業や建設・
建築業が多い



木材以外の業種

■ -10m岸壁の利用実績

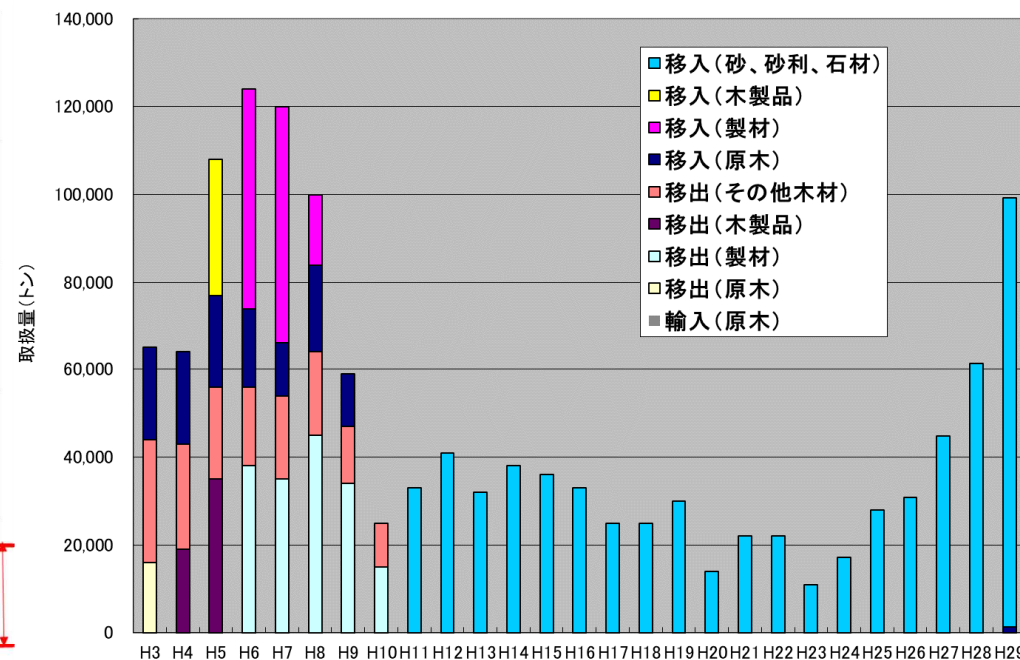
-10m岸壁の取扱貨物量は
ピーク時の19%



津田地区岸壁利用実績の推移(-10m岸壁)

■ -5.5m岸壁の利用実績

-5.5m岸壁の取扱貨物は木材製品
から砂・砂利に代わってきている。



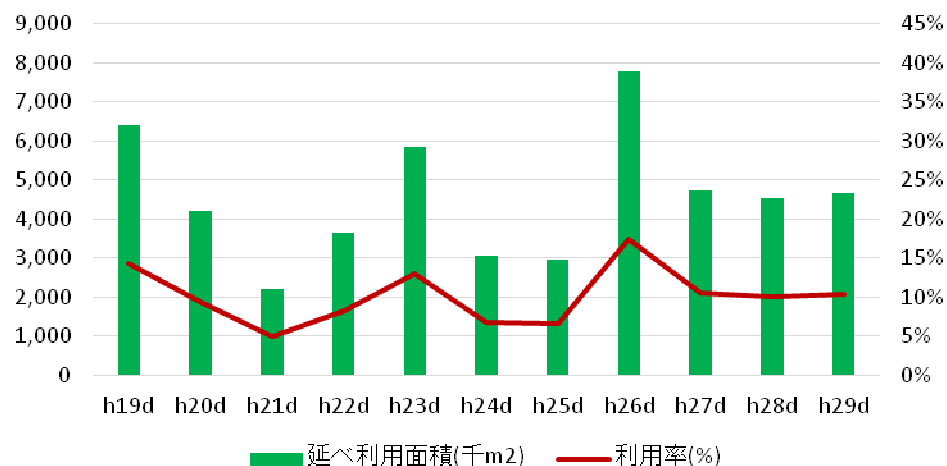
津田地区岸壁利用実績の推移(-5.5m岸壁)

データ出典: 徳島県の港湾統計(徳島県運輸政策課)

■ -10m岸壁背後野積場の利用実績

-10m岸壁背後の野積場利用率5%～17%

野積場利用状況(-10m岸壁背後)

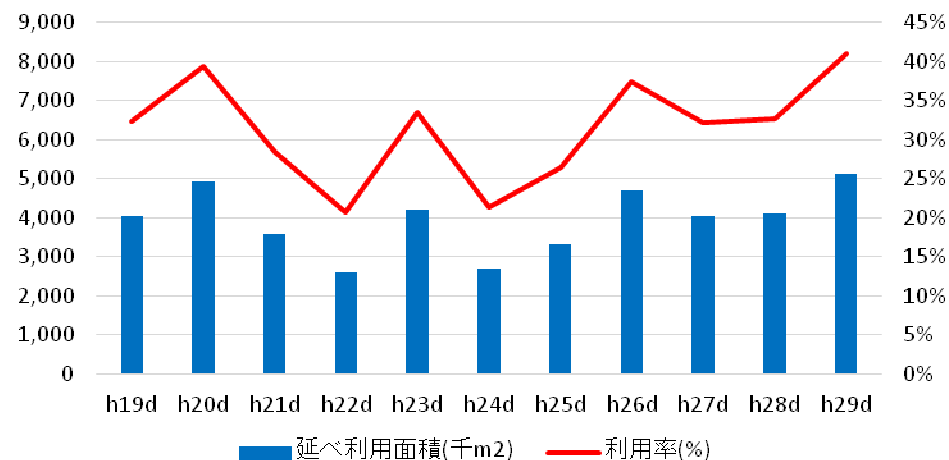


野積場利用実績の推移
(-10m岸壁背後)

■ -5.5m岸壁背後野積場の利用実績

-5.5m岸壁背後の野積場利用率21%～41%

野積場利用状況(-5.5m岸壁背後)

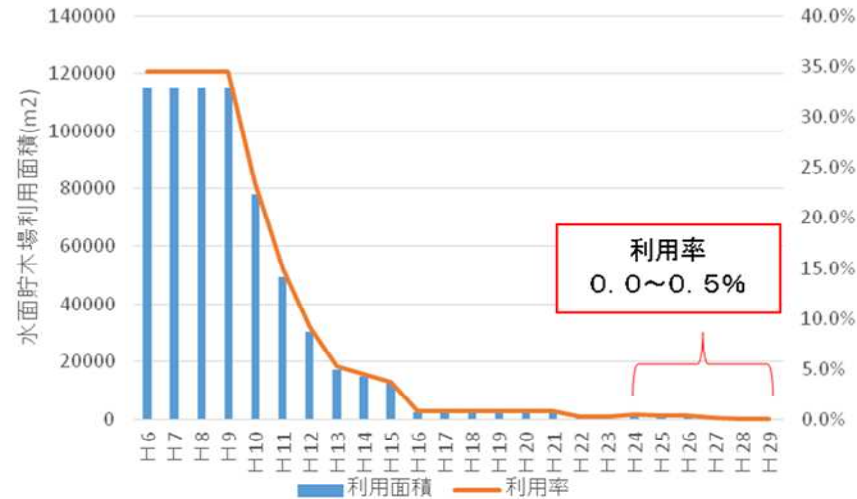


野積場利用実績の推移
(-5.5m岸壁背後)

6-5.水面貯木場

■水面貯木場の利用実績

近年の水面貯木場利用率0.0～0.5%

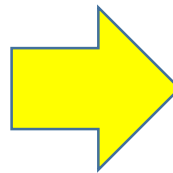


データ出典: 徳島県林業戦略課

水面貯木場利用実績の推移



平成6年3月撮影

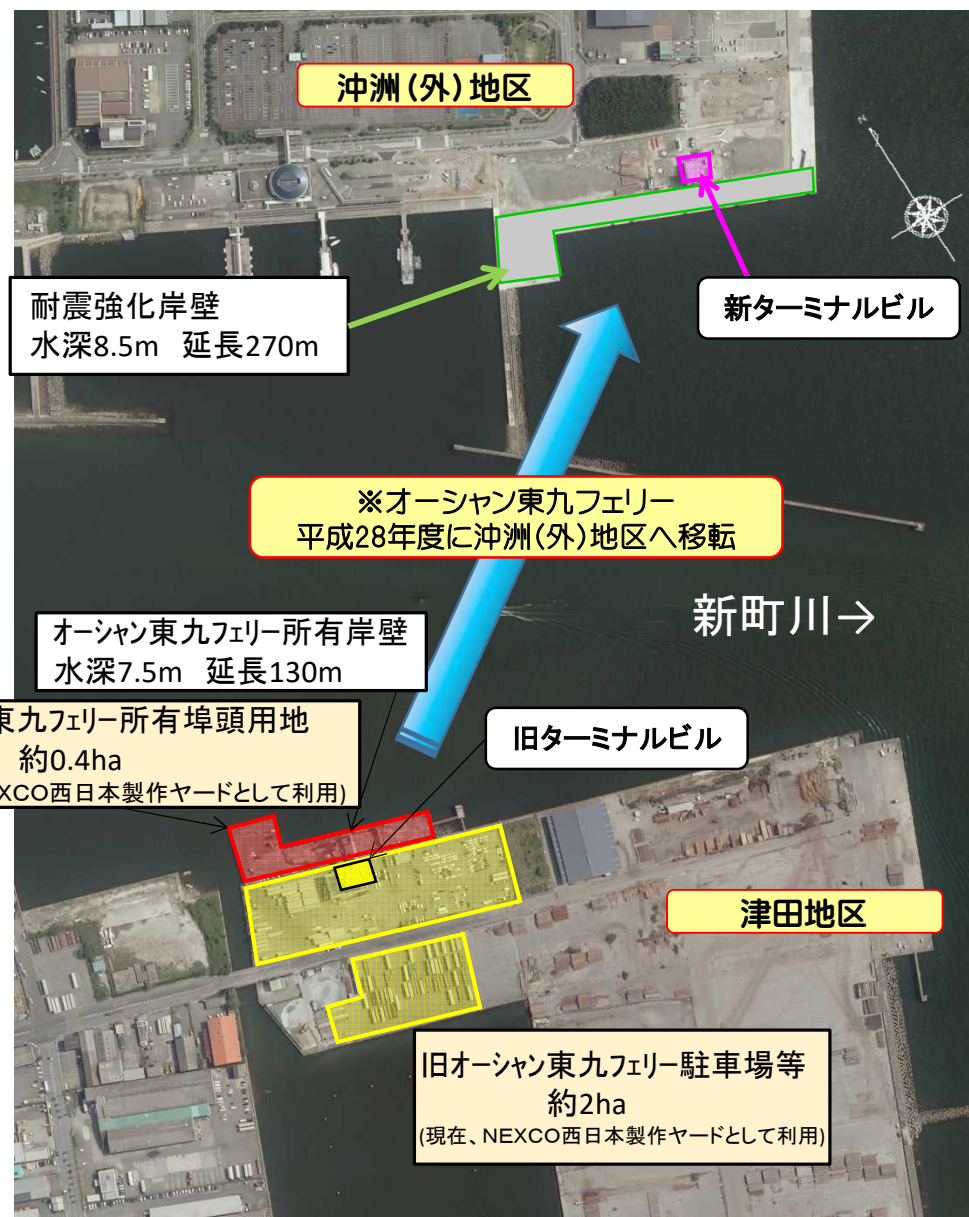


平成30年8月撮影

6-6. オーシャン東九フェリーターミナル

徳島県

オーシャン東九フェリー利用状況



旧オーシャン東九フェリー跡地



H30. 8月時点

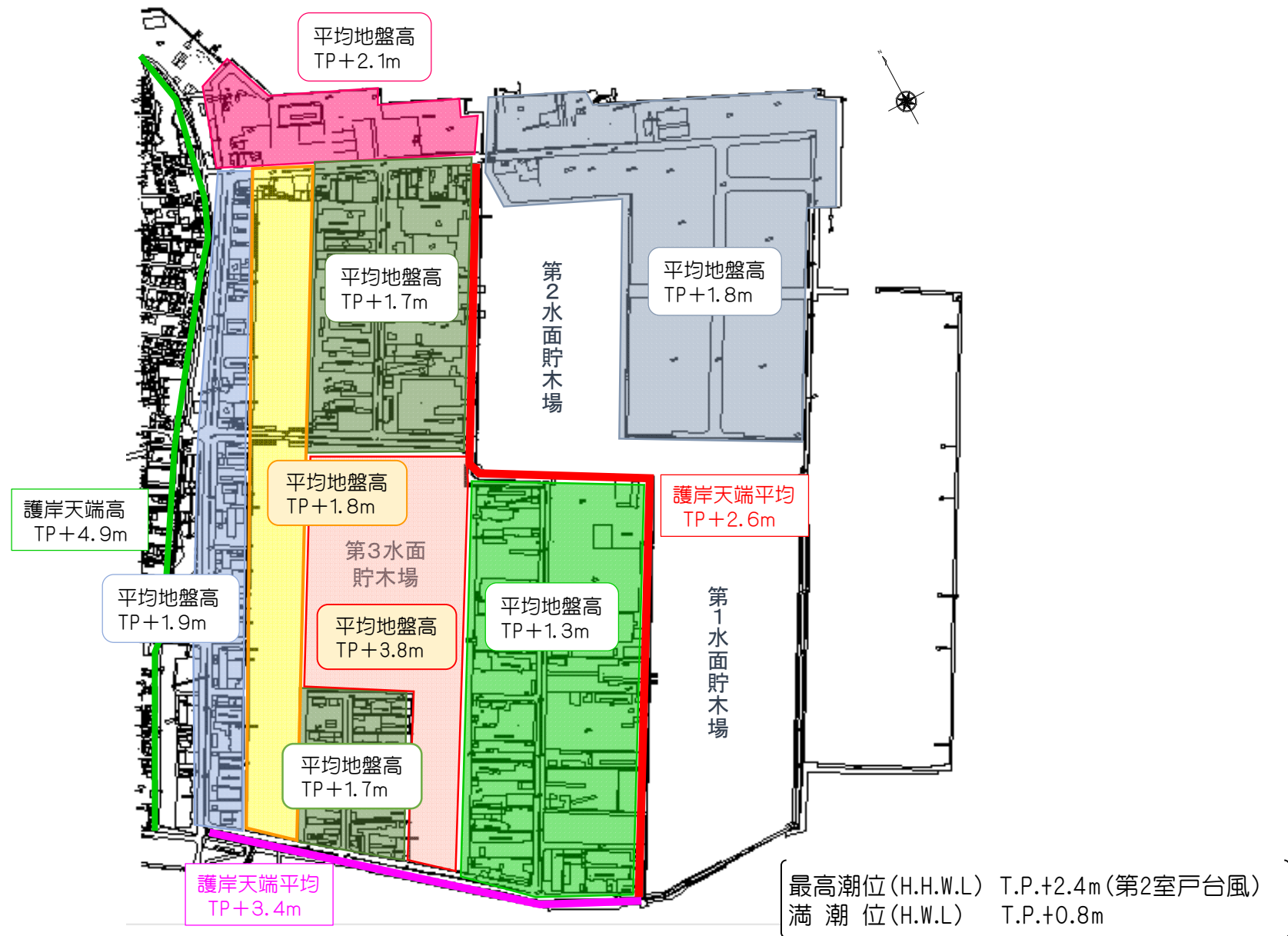
旧オーシャン東九フェリー跡地



現在、NEXCO西日本製作ヤードとして利用

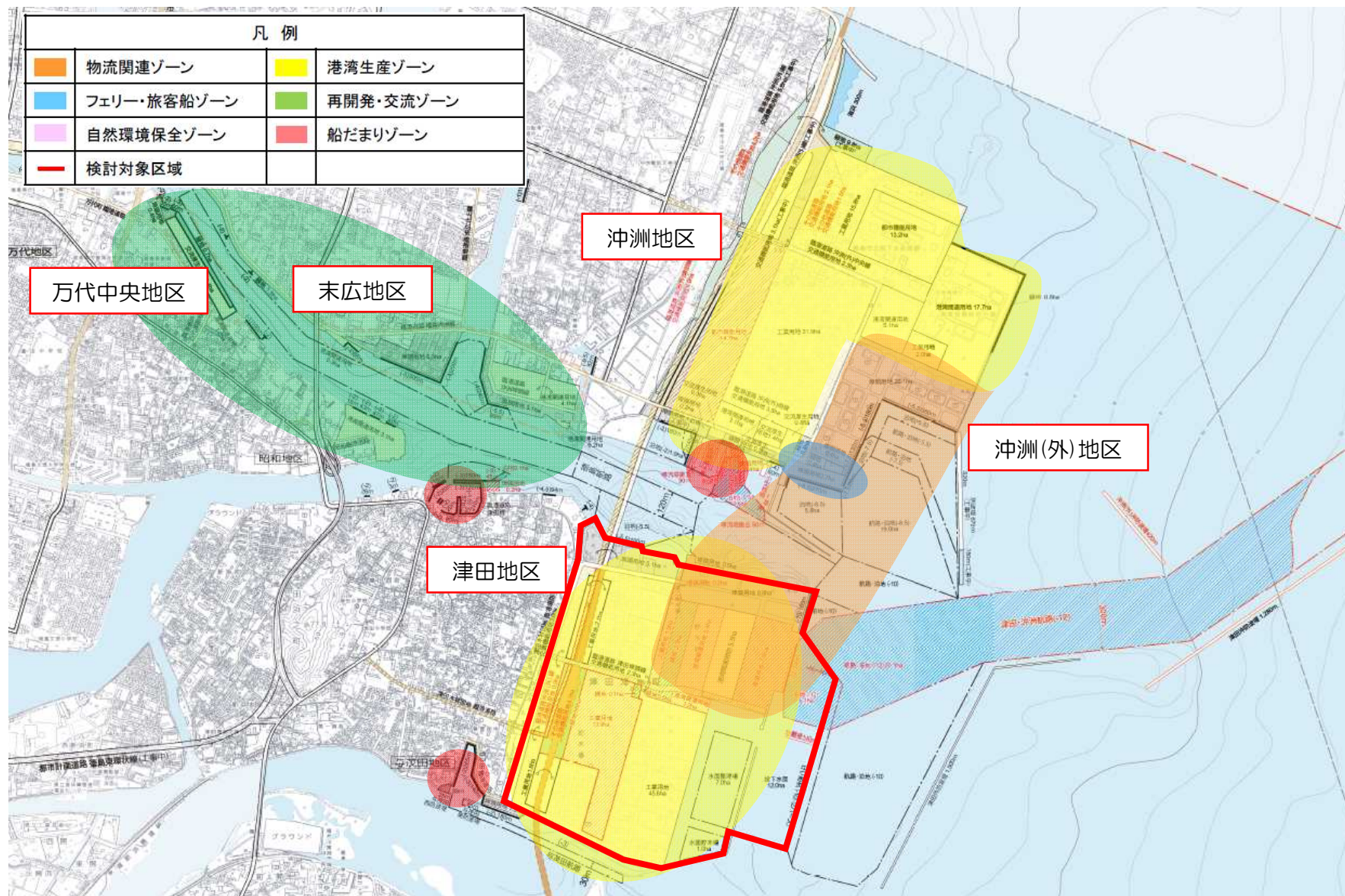
H30. 8月時点

7.地盤高等



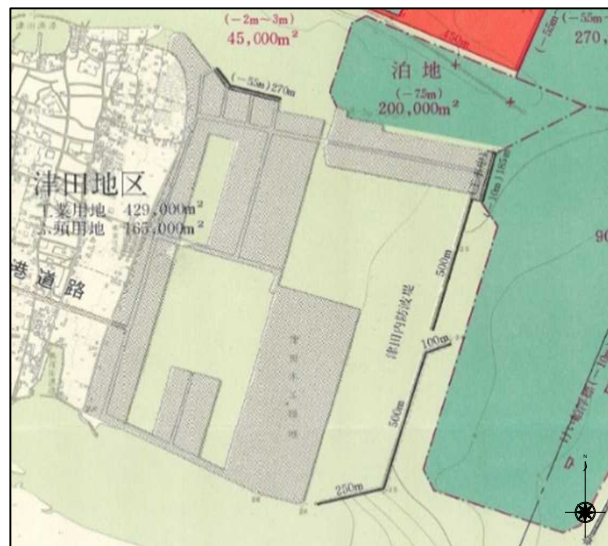
木材団地内地盤高さ

徳島小松島港(徳島港区)のゾーニング



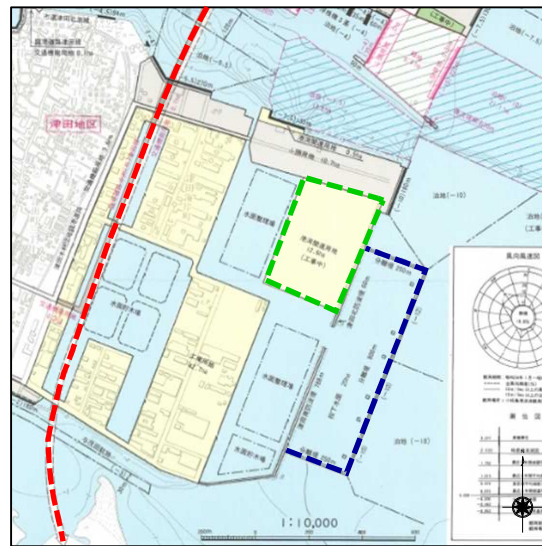
徳島小松島港(津田地区)港湾計画の変遷

【S47 港湾計画】



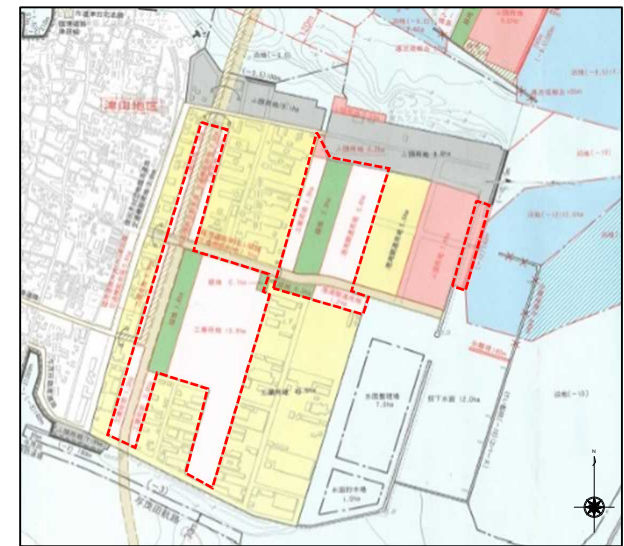
・S46年埋立工事完成時計画

【H6 港湾計画】



- ・四国横断自動車道(H6)
- ・臨港道路沖洲(外)津田線(H6)
- ・港湾関連用地(S62)
- ・係船杭(-12m)分離堤(S48)
- ・係船杭(-10m)分離堤(S48)

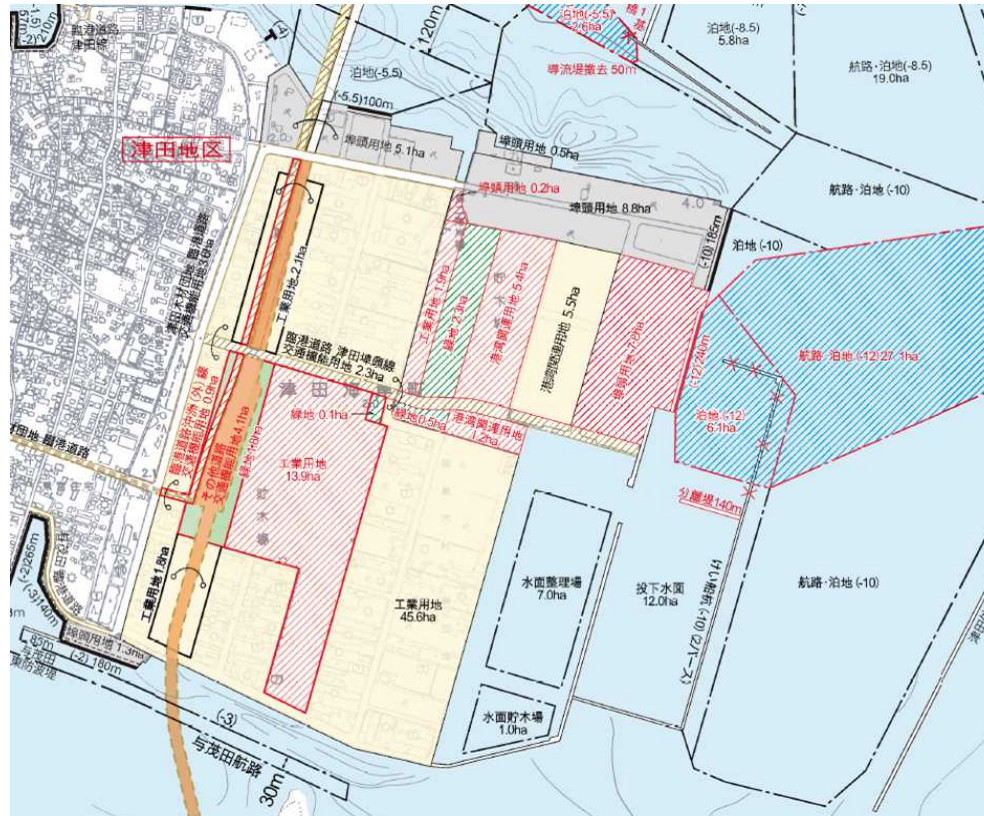
【H13 港湾計画】



- ・工業用地
- ・港湾関連用地
- ・岸壁(-12m)
- ・緑地 等

8-3.港湾計画(平成29年度末時点)

【H13 港湾計画】(平成29年10月軽易な変更)

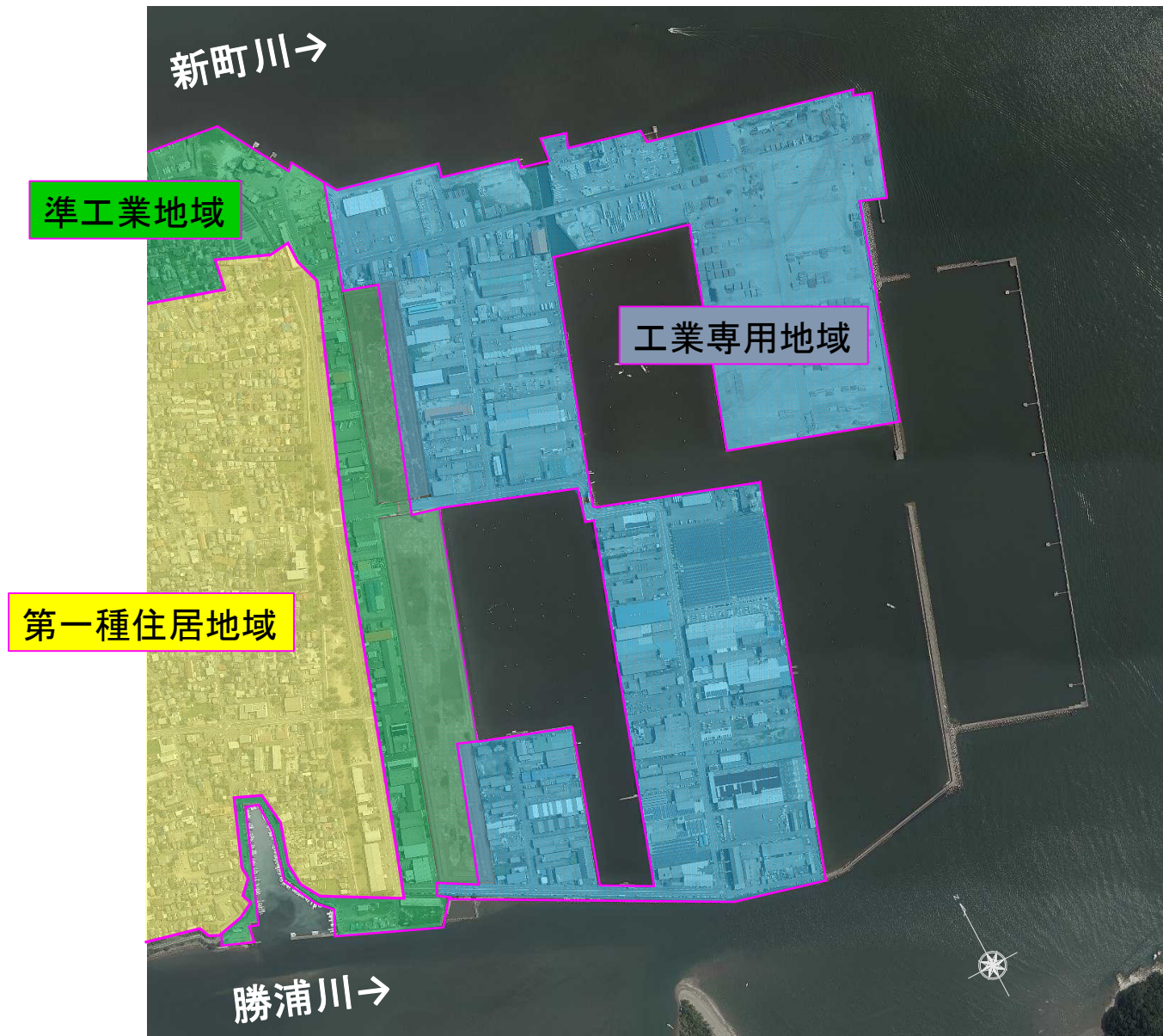


四国横断自動車道ハーフICの設置等、土地利用の需要の変化に対応するため軽易な変更

- ・交通機能用地
- ・緑地 等

9. 都市計画(用途地域)

徳島県



活性化計画の概要

1.津田地区活性化計画策定の経緯

・背景

昭和46年の木材団地完成から、44年経過

近年では、木材輸入量が減少、木材団地内企業の業態も変化

切迫する南海トラフ巨大地震により、最大4メートルの津波浸水が想定、対策が急務な地域
四国横断自動車道 津田IC（仮称）の設置により、新たな「陸海空の結節点」が誕生



大きな潜在力を持つ津田地区のリノベーションを図るため

「津田地区活性化計画」 を策定

・津田地区活性化検討会経緯

■第1回 平成27年10月19日

徳島小松島津田地区を取り巻く状況説明、地元アンケート結果、
報告検討項目、意見交換

■第2回 平成27年12月28日

第1回検討会意見とそれに対する見解
徳島小松島津田地区活性化計画（素案）

■第3回 平成28年 3月18日

第2回検討会意見とそれに対する見解
パブリックコメント実施結果、企業立地意向調査結果
徳島小松島港津田活性化計画（案）

■計画策定 平成28年 3月31日

2. 津田地区活性化計画の概要

徳島県

基本理念

- ハーフ・インターチェンジの設置により、「四国の玄関口」としての機能を担う、新たな「陸海空の結節点」が誕生
- 活用できる既存ストックが豊富

地方創生の起爆剤

大きな潜在力を持つ津田木材団地の「リノベーション」

「まち・ひと・しごと」の好循環を全県下に波及させ、「一歩先の未来」を具現化する津田木材団地を「とくしま回帰先進地」として再生



とくしま回帰をリードする「複合型先進拠点」づくり

活性化計画

地域の資源を活かし、地域イノベーションを加速させる「産業拠点」

- 【新たな企業の誘致】⇒ ① ② ③
 - ・IoTを活用し、陸海空の貨物を取り扱う「流通企業」
 - ・市街地の住工混在を解消し、事業拡大を目指す「町工場」
- 【誘致企業の貨物を取り扱うことによる、港湾施設の利用促進】⇒ ⑥
- 【既存企業（木材関連）の加工・流通拠点整備】⇒ ③ ⑥ ⑦
 - ・県産材を加工した製品を国内外へ出荷

水と緑と笑顔があふれる「交流拠点」

民間活力の導入

- 【マリンレジャー拠点となり、放置艇対策にも繋がるボートパークの整備】⇒ ④
- 【地元海産物を活かした産直市をはじめとする「にぎわい拠点」の整備】⇒ ① ②
- 【憩いの場と防災拠点の機能をあわせ持ち、一部の水面を活用した親水空間を有する緑地の整備】⇒ ① ② ⑦

四国の玄関口となる「交通結節点」

- 【フル・インターチェンジ用地の確保】⇒ ① ⑦
- 【津田木材団地と背後地域を結ぶアクセス道路の整備】⇒ ⑧
 - ・渋滞対策のための交差点改良
 - ・歩行者等の安全性向上のための施設整備

南海トラフ巨大地震等の大規模災害を迎え撃つ「県土強靱化」

地域の防災力を高める「県土強靱化」

- 【木材団地従事者等のための津波避難場所の整備】⇒ ① ②
 - ・高速道路、緑地、にぎわい施設を活用
- 【津波浸水に対応した埋立造成】⇒ ① ②
 - ・周辺より2メートル程度高く造成
- 【新たな土地利用に合わせ海岸保全施設を段階的に整備】⇒ (地区全体)
- 【内水被害軽減のための排水対策と親水空間の活用】⇒ (地区全体)

地球環境にやさしい「スマートな地域社会」の構築

環境首都・新次元とくしまの実現に向けた「スマートな地域社会」

- 【スマートな交通結節点の実現に向け、にぎわい拠点に水素ステーション・EVスタンドを整備】⇒ ① ②
- 【太陽光発電をはじめとする自然エネルギー導入の促進】⇒ (地区全体)
- 【地域内エネルギーを総合的に管理するスマートコミュニティ・モデル地区の構築】⇒ (地区全体)

計画推進に向けた取組み

津田ICの早期供用を見据えたフェーズ1と将来のフェーズ2となる施策を段階的に展開

3.津田地区活性化検討会における今後の検討課題

徳島県

・要旨

徳島小松島港津田地区活性化計画は、大まかなゾーニングまでを決めたもの。



今後の検討課題(検討会での議論)

- ①交流施設、緑地、工業施設の3種類の配置方法。
このデザインが鍵になる。(2m高い敷地とそうでない敷地がある)
- ②敷地のサイズ、業種別の区画調整。(各ゾーンに相応しい企業の選定)

今後、分譲に向けて
各ゾーンの用途の配置計画(業種、大きさ等)についての検討が必要。

津田地区活性化整備事業の概要

1.徳島小松島港津田地区活性化整備事業

徳島県

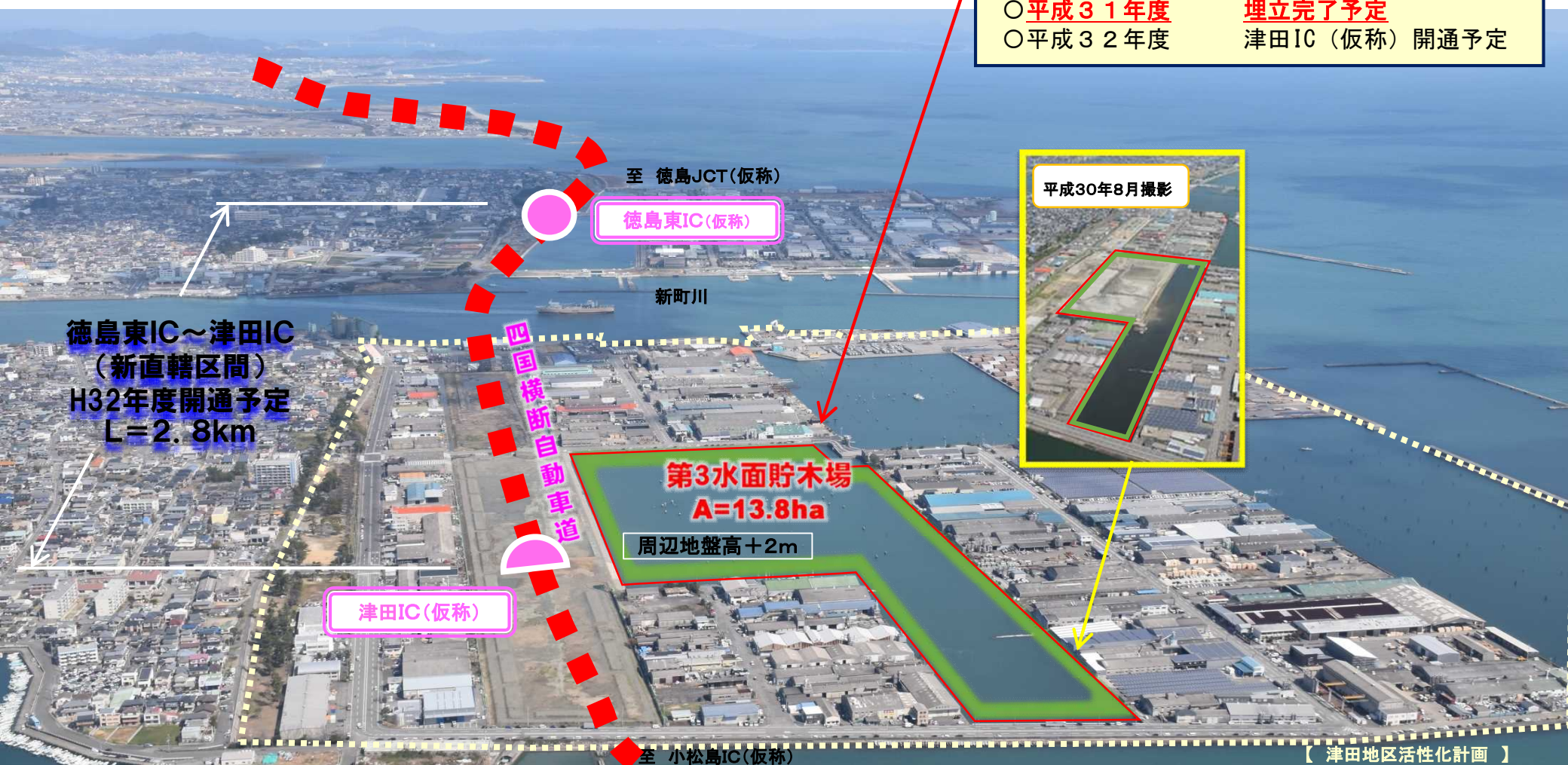
◆ 事業概要

- 大きな潜在力を持つ**津田木材団地のリノベーション**
- 津波浸水に対応した**企業用地の造成**
- 高速道路南伸を見据えた**インター用地の確保**

◆ スケジュール

- 平成27年度
- 平成28年度
- 平成29年度
- 平成31年度**
- 平成32年度

津田IC（仮称）連結許可
津田地区活性化計画策定
埋立免許願書申請
埋立工事着手
埋立完了予定
津田IC（仮称）開通予定



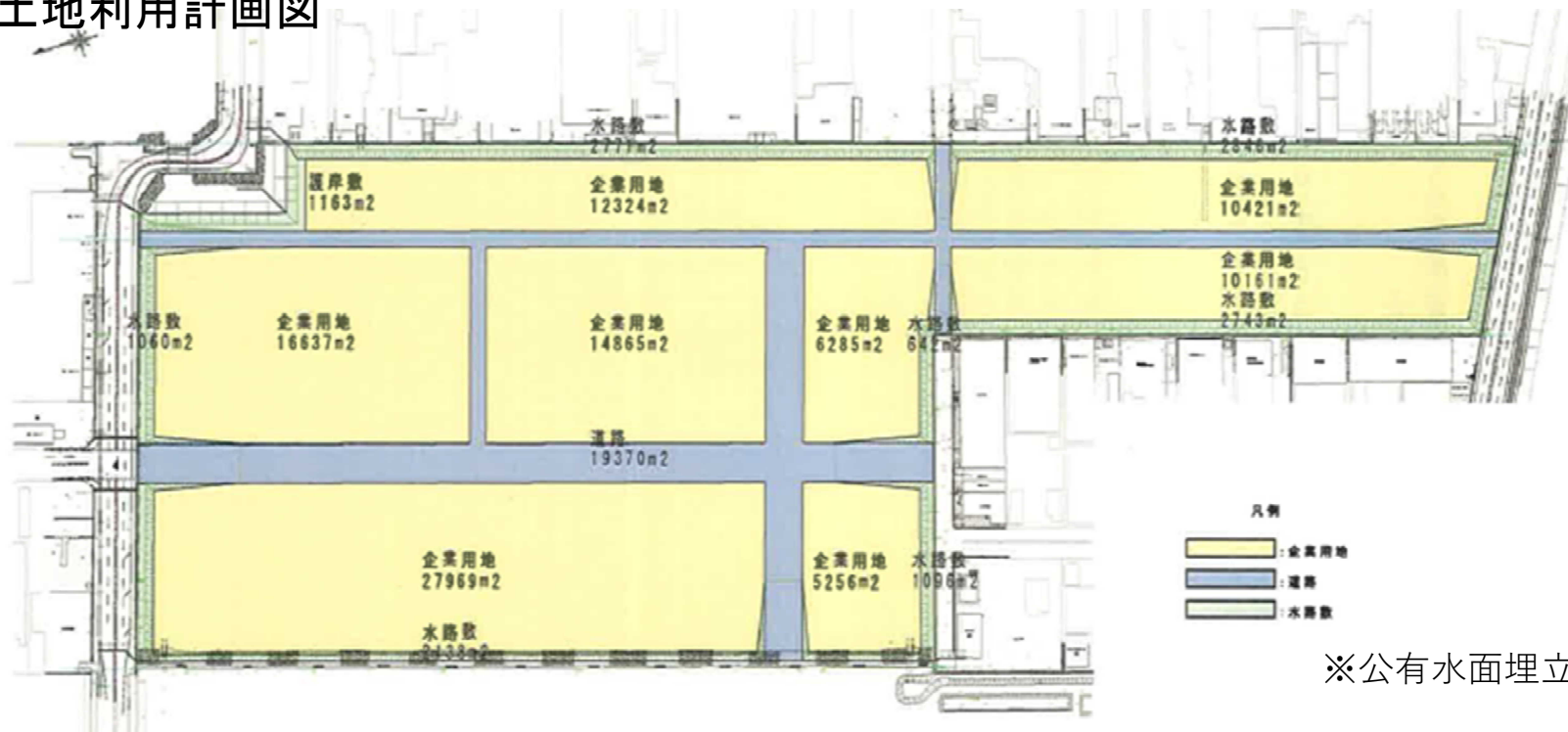
2.土地利用計画

■用地面積総括表

製造業用地の面積総括表（単位：㎡）

埋立地の用途	土地利用	必要面積	土地利用面積	埋立面積
製造業用地	企業用地	207,020	103,918	103,918
	道 路	19,372	19,370	19,370
	水路敷	13,296	13,296	13,296
	護岸敷	1,163	1,163	1,163
合 計		240,851	137,747	137,747

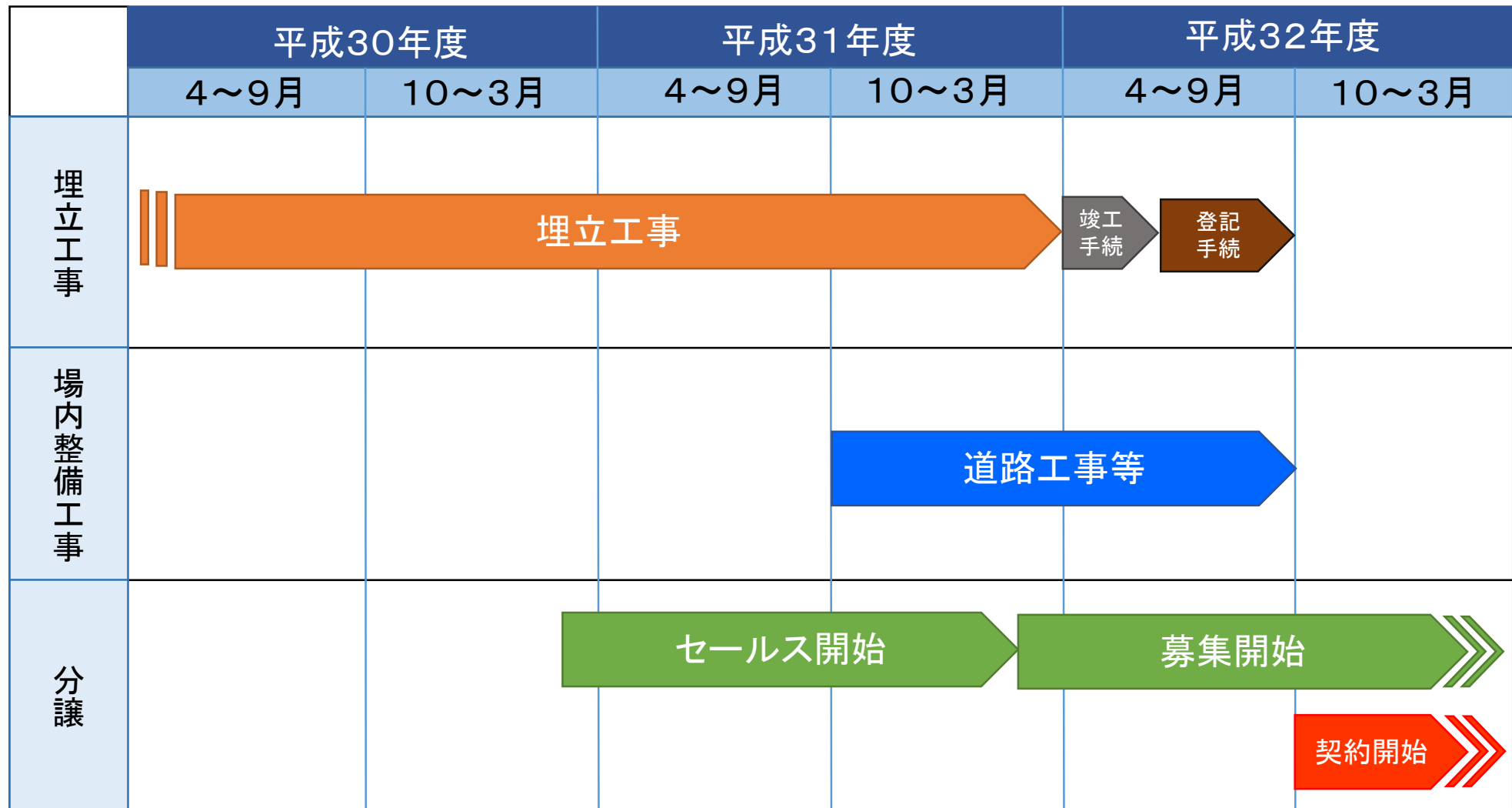
■土地利用計画図



※公有水面埋立免許願書より

3.事業スケジュール

徳島県



議題2

検討課題及び今後の進め方について

検討課題

①分譲開始に向けた活性化計画のゾーニングの見直し

※第2回委員会検討予定

- ・津田地区に立地意欲のある企業の希望総面積29.0ha※1
- ・緑地・にぎわい拠点の配置検討
- ・自然エネルギー(バイオマス発電所)立地計画の浮上

②分譲計画(分譲業種や区画割等)の検討

※第3回委員会検討予定

- ・津田地区に立地意欲のある主な業種:木材流通団地内企業、製造業、流通業※1
- ・津田地区に立地意欲のある企業の過半数が立地面積1.0ha未満を希望※1
- ・現在、企業用地に関するアンケート調査実施中

③分譲要項・審査要領等の検討

※第4回委員会検討予定

※1:徳島小松島港津田地区における新たな企業用地に関するアンケート調査(H28.3)より

①-1.活性化計画のゾーニングの見直し

徳島県

■企業立地意向調査結果

(徳島小松島港津田地区における新たな企業用地に関するアンケート調査)(H28.3.10時点)

対象者	回答数
大阪・兵庫 流通業(徳島と取引有)	6
徳島県木材団地	79
徳島市内製造業	107
徳島県内流通業	115
香川県内流通業(売上上位100社)	31
愛媛県内流通業(売上上位100社)	22
高知県内流通業(売上上位100社)	34
徳島県内卸売業(売上上位100社)	44
香川県内卸売業(売上上位100社)	46
愛媛県内卸売業(売上上位100社)	25
高知県内卸売業(売上上位100社)	21
合計	530

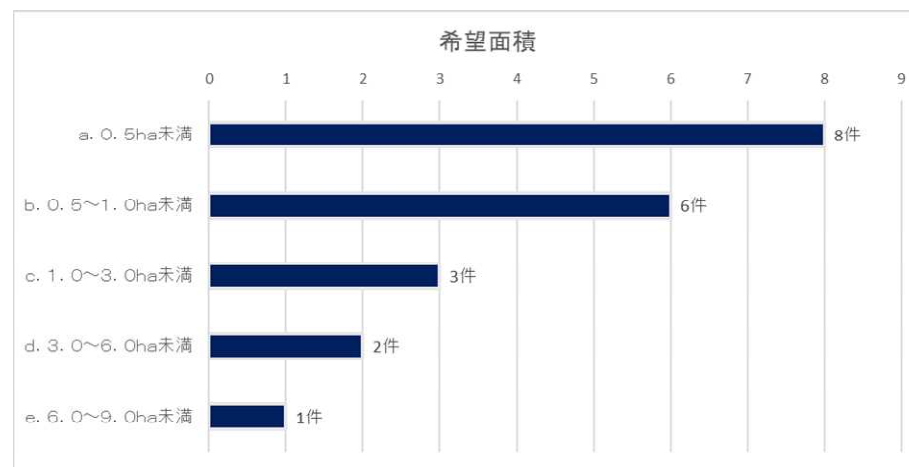
■津田地区への事業所立地に興味関心がある企業 30社／530社

→立地意欲のある業種

①木材流通団地内企業、②製造業、③流通業

■希望面積

①0.5ha未満 ②0.5～1.0ha ③1.0～3.0ha



■重要視する条件

①価格、②道路交通、③災害の少なさ

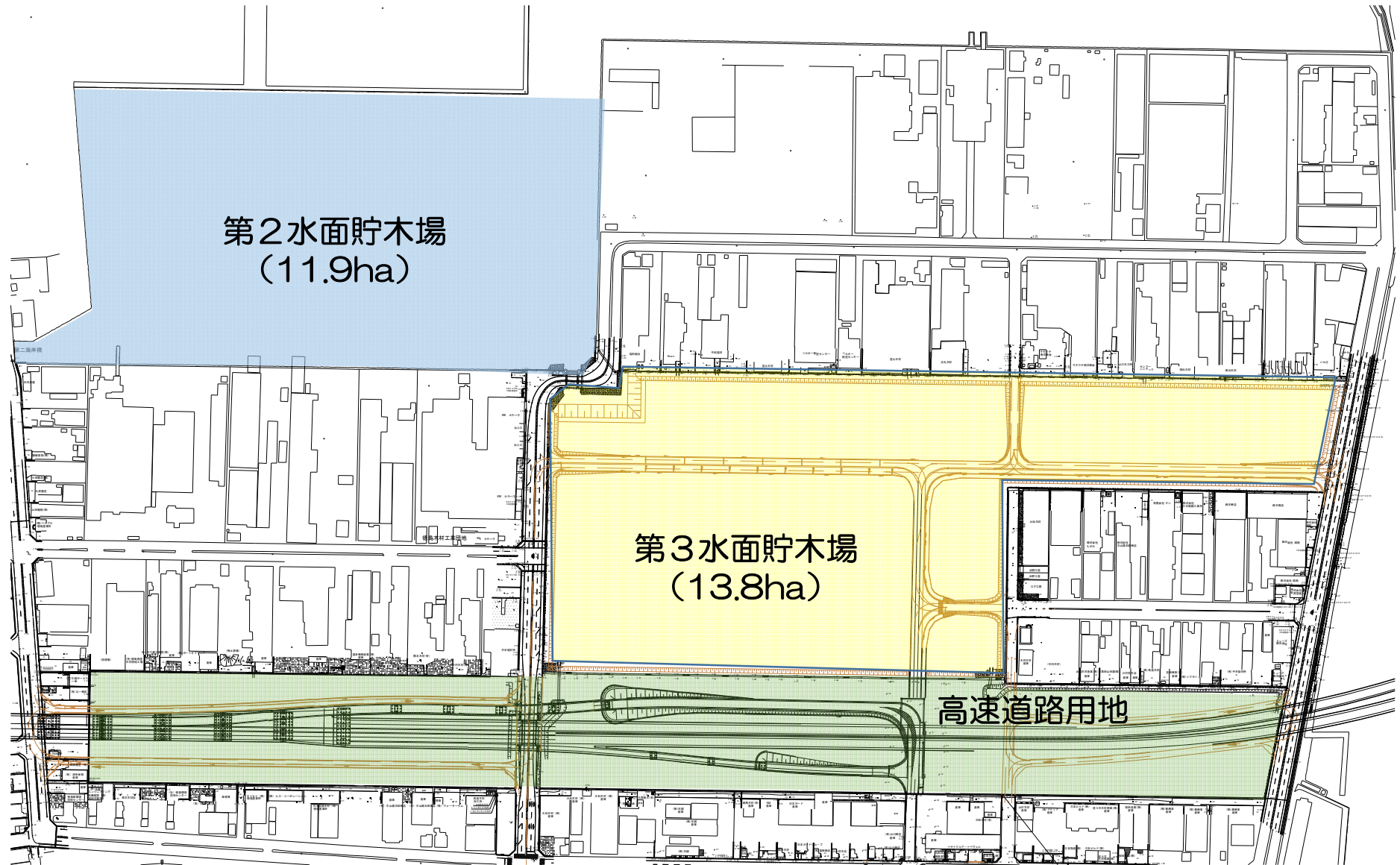
■利用目的

①倉庫 ②事務所 ③駐車場・工場

★津田地区に立地意欲のある企業の希望面積
→総面積 29.0ha(回答20社(うち木材団地16社))

①-2.活性化計画のゾーニングの見直し

徳島県



①-3.活性化計画ゾーニングの見直し

徳島県

・配置の考え方



自然エネルギー
の導入
(バイオマス発電所)

緑地・にぎわい拠点
の集約

フルIC
用地確保

企業用地確保

②.分譲に向けたアンケートの実施について

徳島県

■第3水面貯木場の分譲に向けたアンケートを実施予定 (第3貯木場における企業立地に関するアンケート調査)

アンケート調査への御協力のお願い

徳島県では、平成28年3月に「徳島小松島港津田地区活性化計画」を策定し、平成29年度から当該地区（徳島県木材団地）の第3水面貯木場を埋め立て、新たな企業用地の造成を行っているところです。

近年、社会構造・経済環境の変化に伴い、「徳島小松島港津田地区」を取り巻く状況も変化しており、平成32年度の四国横断自動車道・津田IC（仮称）の開通を見据え、今後、企業用地を分譲するに当たっての参考とするため、本アンケート調査を実施することといたしました。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨を御理解の上、御協力を賜りますようお願いいたします。

【留意事項】

- (1) 代表者等、貴社の経営全般に携わっている方が御回答くださるようお願いします。（御提出者名は、他の方でも結構です。）
- (2) 別添調査票の各設問において、該当する選択肢に○印をつけていただくか、直接記入欄に必要事項を御記入ください。
- (3) 御回答いただいた調査票は、お手数ですが、平成30年9月14日(金)までに同封の返信用封筒にて御返送ください。
- (4) 御回答いただいた内容につきましては、本調査のみに使用し、個人・企業に関する情報が公表されることは決してございません。

○津田地区のポテンシャル



【問合せ先】

(アンケート内容に関すること)
徳島県県土整備部
運輸政策課 港にぎわい振興室
資産活用担当
電話:088-621-2587・2327
FAX:088-621-2875

(工事内容に関すること)
徳島県県土整備部
運輸政策課
整備担当
電話:088-621-2660・2675
FAX:088-621-2875

■アンケート調査対象企業 1,500社(うち県外約600社)

→調査対象

- ①徳島県木材団地内企業
- ②製造業（徳島市内）
- ③流通業・卸売業（四国内及び徳島県と取引のある大阪・兵庫）

■アンケート調査の内容

- ①新設移転の計画の有無
- ②購入意思の有無、及び立地時期
- ③必要面積、許容価格、利用用途

■アンケート調査の実施時期

平成30年8月～9月

今後の進め方(案)

2.今後の進め方(案)

